

函館水道創設130周年記念事業について

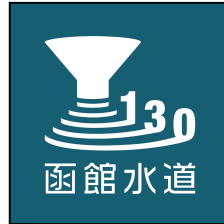
ア 実施状況

① ステッカー作成（7月～3月）

- ・ 130周年記念ロゴマークのステッカーを公用車64台へ貼付
- ・ 記念ロゴマークは、元町配水池の柱をモチーフに砂時計と波紋の広がり表現しており、砂時計は130年の時間の経過、波紋の広がりには市民にあまねく水を届けている様子を意味しています。



ロゴマーク基本形1



ロゴマーク基本形2



公用車への貼付状況

② 函館水道創設130周年記念号の運行（電車ラッピングの実施）

- ・ 運行予定期間：8月1日から11月30日
- ・ ラッピングデザイン

観光地と水道施設が描かれ、函館の水道が街と共にあると言うことが感じられるものとなっています。普段目にするのできない地下を流れる水や、元町配水場の地下にある配水池に加え、高低差のある地形を活かした水道の仕組みを描くことで、函館の街中に水が届けられている様子が表されており、車両中心の窓には、記念ロゴマークも配されています。



函館水道創設130周年記念号

③ ペットボトル水「はこだての水」の作成

- ・ 赤川低区浄水場の緩速ろ過水を原料水としたペットボトル水
- ・ 製造本数：7,200本（500ml）
- ・ 11月開催の日本水道協会全国会議の参加者や、施設見学者に配布するほか、各種会議やイベントで活用する予定
- ・ ラベルデザイン

だれが見ても「はこだての水」とわかってもらえるよう、函館山、教会などの歴史的建物や路面電車などの函館の街の魅力と共に、元町配水場などの水道施設が描かれています。



④ 夏休み親子水道教室の開催

- ・ 函館市内にお住まいの小学生とその保護者を対象として、普段見るのできない水道施設の見学、濁った水をきれいにする実験、配管組立の作業体験を行いました。
- ・ 実施日：8月7日（水）
- ・ 参加者数：28名

資料5



施設見学の状況



実験の状況



作業体験の状況

⑤ 函館水道フォトコンテストの開催

- ・ 「人々の暮らしに欠かせない大切な水」をテーマに、水道に関する日常風景やダム、配水池などの水道施設を題材としたフォトコンテスト実施しました。
- ・ 募集期間：4月1日から6月28日まで
- ・ 応募者数：21名
- ・ 作品数：55点
- ・ 表彰式：7月31日
- ・ 作品展：8月1日から9月1日まで アクロス十字街1階ホール

最優秀賞



優秀賞



優秀賞



⑥ 日本水道協会令和元年度全国会議・水道展への学生招待

- ・ 公益社団法人日本水道協会主催の令和元年度全国会議および一般社団法人日本水道工業団体連合会主催の水道展への招待予定。

函館高専学生 生産システム工学科 学生36名 教員5名

函館工業高校生徒 環境土木科 生徒40名 教員数名

- ・ 開催日：11月6日から11月8日
- ・ 会場：函館アリーナ、花びしホテル

⑦ 工事現場見学会の実施

- ・ 赤川高区浄水場ろ過池建設工事の現場見学会を実施予定

函館高専学生

函館工業高校生徒

⑧ 企業局だよりの特集記事

- ・ 函館水道の歴史に関する特集記事の掲載

4月号、7月号：掲載済み

11月号：掲載予定

イ デザイン

130周年記念ロゴマーク、電車ラッピング、ペットボトル水のラベルの各デザインは、「公立はこだて未来大学 函館市企業局デザインプロジェクトチーム」のご協力により制作されました。このチームは、函館水道創設130周年記念事業および日本水道協会令和元年度全国会議における各種デザイン制作のため、公立はこだて未来大学の学生6名と木村健一教授がアートディレクターとなり結成されたチームです。チームの皆様には、デザイン制作にあたり、多大なご貢献をいただきましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。